

問 学校教育課 学務係 ☎72-2101（内線606・607）
財政課 行革推進係 ☎72-2101（内線168）

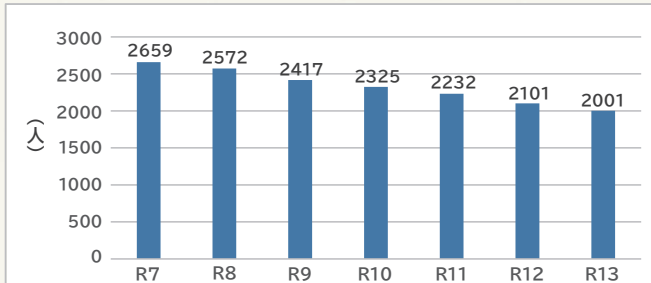
バックナンバー
はこちら！



未来の学校プロジェクトについて

茅野市では全小学校で児童数が減少し、令和13年度には令和7年度と比べて約660人の児童が減の見通しとなっています。子ども達を取り巻く学びの場が変化していく中で、市教育委員会では、持続可能でより魅力ある学校教育の実現を目指して、子ども達のためにどのように教育を充実させ展開させていくのか、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

【市内児童数の推移】



（令和7年10月9日時点の住民登録者を基に市が独自で推計）

地域対話を開催しました

児童数が減少する中、今までの仕組みを保つのか、子ども達にとってよりよい学びの場をどのように築いていくのか、市民の皆さんと小学校の方向性を考える場として「地域対話」を開催しました。

名称	内容	参加者
第1回 保護者対象の地域対話	・小学校児童数の推計について ・学級編成や教員配置の制度について ・今後の進め方	各小学校区 計9回（全137名） アーカイブ視聴：267回
第2回 保護者対象の地域対話	第1回で寄せられた6つのパターン （制度説明・事例紹介・メリットデメリット）	各小学校区 計9回（全61名） アーカイブ視聴：299回
第1回 地域全体の地域対話	・小学校児童数の推移について ・学級編成や教員配置の制度について ・保護者対象の地域対話で寄せられた6つのパターン	各地区 計10回（258名） アーカイブ視聴：466回

地域対話では、様々な観点から未来の学校の事を考えていただきました

地域対話で出た主な意見

- 学校の規模によって学校を選択できる方が良い。
- 茅野市の魅力や特色を活かした学校を残し、選ばれる学校づくりをしたい。
- 地域に根ざした学校なので、まちづくりと一体的に検討したい。
- 9校維持の負担を子ども達に残すことがよいのか検討したい。
- 保護者の参加が少ないので、保護者が議論に参加できる環境を作り、丁寧に検討を進めてほしい。

地域対話の詳しい内容は
ホームページ（QRコード）
をご覧ください



今後の進め方について

これまでの地域対話に加え、さらに幅広く市民の皆さんの意見を伺うため、市民アンケートを実施する予定です。市民の皆さまの声を大切に、一つひとつ丁寧に検討を進め、未来につなげていきたいと考えています。

今井市長の想い

少子化に伴う学校再編の課題は全国的に広がっています。学校再編には財政面での課題もありますが、茅野市では、行財政改革の「財」の部分ではなく、**子どもたちの教育環境のあり方を見直す**という「行」の改革の視点を重視しています。将来的には、すべての小学校で児童が減少し、1学年10人以下になる学校も出てくる見込みです。そこで、まずは**子どもたちにとってどのような教育環境が最適か**を最優先に考え検討を進めています。将来の茅野市を担う子どもたちのために、市民のみなさんと一体となって「オール茅野」で教育の未来を考えていきたいと思っておりますので、是非多くのご意見をお聞かせください。

茅野市を変える
茅野市は変わる

今しかない、
未来のための
行財政改革